

案 内

新研究部会設立のお知らせと参加者募集

日本熱処理技術協会では、我が国の熱処理技術分野での競争力の強化を目指し、その基盤の維持・強化を目的として本年度より新しい研究部会（熱処理技術と特性研究部会）を設立することになりました。今年は2つのワーキンググループ（WG）を設置し、それぞれ異なる課題に取り組みます。

各WGは南部紘一郎准教授（大阪産業大学）と中田伸生准教授（東京工業大学）をWGリーダーとして、産業界の若手・中堅技術者、研究者で構成され、重要分野の過去文献をレビュー・解析することで、重要知見の再共有化及び伝承を行うと同時に、我が国の将来の熱処理技術競争力強化のために必要な研究課題抽出にもつなげたいと考えています。

将来の熱処理技術分野を担う技術者、研究者の皆さんの積極的な参加を期待しています。WGではリーダーを中心に全員参加型で深い議論を行いたいと考えていますので、各WGの構成員は10名程度に限らせて頂く予定です。

【各WGの紹介】

（WG1）テーマ：次世代浸炭技術における課題とキーファクター

リーダー：大阪産業大学 南部紘一郎准教授

浸炭処理は表面改質熱処理の一つとして幅広く使用されている技術である。現在、従来のガス浸炭から真空浸炭、プラズマ浸炭など新しい処理法が開発されている。本WGでは、過去の文献から浸炭処理の進化に影響を与えた「課題」および「課題解決のきっかけとなったキーファクター」を明らかにし、次世代浸炭処理技術の指針を策定する。

（WG2）テーマ：マルテンサイトの強靱化

リーダー：東京工業大学 中田伸生准教授

高強度鋼の基地組織であるマルテンサイトの組織と力学特性の関係を研究し、とくに強度と靱性を支配する組織因子とその制御方法の理解を目的とする。具体的には、1970年代から始まる我が国における加工熱処理研究の系譜を研鑽し、今後の加工熱処理技術について議論する。

【参加希望者の申し込み方法】

参加希望者は以下の期限までに協会事務局に申し出を行ってください。参加希望者が多数の場合には、WGリーダーと協議の上、参加者を選別させて頂く場合がある事をご了承ください。

申込期限：2021年9月30日

申込先：日本熱処理技術協会事務局

e-mail：info@jsht.or.jp

参加希望者の氏名、所属、連絡先（含むe-mail）を記入ください

※メールのタイトルに「研究部会参加希望」と記入ください。

熱処理技術と特性研究部会長 高橋 学